（昭和33年10月15日 第三種郵便物認可）　昭和33年12月15日　（第51号）

五所川原市広報

一部2円

運転資金の融資
中小企業者に対して

中小企業者に年末資金の特別融資をいたします。

この制度は県内の中小企業者に対して年末資金を保証融資することによって逼迫する年末の金融難の緩和を促進するために実施するものであつて、その要綱は次のようになつております

一、保証融資総額　二億五千万円也（青森県）

一、取扱金融機関　この制度の趣旨に賛同した金融機関

一、制度の実施期間　昭和三十三年十一月五日から昭和三十四年三月五日まで

一、裏付資金　青森県は本制度の円滑な運営を期するため、県費五千万円を保証協会と協議の上昭和三十三年十一月十日から、昭和三十四年三月十日までそれぞれ取扱金融機関に預託するなお本制度の効果を更に拡大するため関係市町においても総額二千万円を協調預託する。

一、保証融資の条件
① 保証対象　県内の中小企業者
② 資金の使途　運転資金
③ 保証金額　原則として一件金五十万円以内
④ 保証期間　九十日以内
⑤ 保証形式　手形貸付、手形割引、及び支払保証の保証
⑥ 償還方法　一時払
⑦ 利息及び保証料　イ、利息、取扱金融機関の所定利息　ロ、保証料、日歩七厘
⑧ 保証人及び担保　保証人は一人以上とし必要に応じて担保を徴する

一、申込受付場所　① 取扱金融機関各店舗　② 保証協会の本所及び支所

一、申込受付期間　昭和三十三年十一月五日から昭和三十四年一月三十日まで

一、その他
① 本制度の運営状況について保証協会は毎日知事及び日本銀行青森支店長に報告する。
② 一般保証と区別するため、協会の所定書類に『年特』の記号を付する。
③ 本要綱に定めない事項について県、取扱金融機関及び保証協会が協議の上決定する。

事務引継
新旧市長で

十二月五日午前十時から高橋総務部長、佐々木庶務課長立合の上で事務の引継が行なわれた。この日の山内新市長は濃こんの背広に頭髪も綺麗に整とのえ、外崎前市長は薄茶の背広で、長火鉢を真中にはさみ終始笑顔の裡に十一時終了した。

（左）現市長 山内久三郎氏　（右）前市長 外崎千代吉氏

供米代金は
予金いたしましよう
…計画性をもちたい…

心配された台風も大きな被害も与えず四年続きの豊作で今年も暮れようとしております。

豊作のよろこびはなべ底景気をふつとばして日本経済の中のただ一つの明るい話題でしよう。

この豊作の供米代金をめぐつていろ〳〵の方面から、活潑な運動が行なわれていますが、なんとしてもこの供米代金をどのようにして使うかを農家のみなさんによく考えて頂かなければなりません

とかく豊作のときは無計画に消費的な支出がかさみがちですから、まず預金をして充分に考え、計画をねつてから引出して使うようにして下さい。

第一には、来年の作付に必要な肥料、農薬等の購入資金に充当することでしよう。これが金額の必要時期は農家のみなさん方充分おわかりのことでございましようから、それまで農協の定期預金にしてこの資金を確保しておくことが一番有利なことでしよう。

第二には災害にそなえることです。今年の豊作の中には局部的には干害、風水害を受けた方があります。これらの天災に備え、又土地改良等、所謂生産を高める基盤を作るための備荒貯金をする心構えが必要でしよう。

第三には、生活改善のための資金です。農家の経済的地位を高めるためには従来の生活様式を合理的に改善することで、古い風習冠婚葬祭等にこだわらず必要以上の支出を極力おさえることです。

最后に農家の収入の大半はこの供米代金によるものですから来年の収穫時期までの生活費を計画的に分配し農業経営の資金に不足がおこらない様にして下さい。

まず供米代金は一応農協に預金しましよう

農林商工課

五所川原婦人会
消防署を慰問

婦人会（会長永井かつ）では例年通り、私達市民の身体、生命、財産を火災から守つてくれている消防署員を慰問した、この日十一月十九日は猛訓練の終つた後で日頃のはりつめた心もやわらんで大いに感謝し、婦人会から、全署員に軍手その他の贈り物があつて午后一時過ぎひきあげた。

栄中学校
校歌
目下作曲中

五所川原市立栄中学校（校長白戸爲教氏）ではかねてから校歌の作成を急いでいたがこの程五所川原市教育委員会教育長工藤直三郎氏の作詞によつて出来あがつた。作詞次の通り、尚作曲は弘前大学教授清野健氏に依頼中である。

（一）
東楚珠の裾のもと
津軽広野のただ中に
黄金垂穂は波寄せて
天の惠みとたたえつつ
学ぶわれらのほがらかさ
ここぞ名のごと　栄中

（二）
西に岩木根仰ぐもと
とわの気高きひとすじに
神の啓示とぬかづきて
地の利つぶさに
ささげつつ
進む歩調の、高らかさ
ここぞ名のごと　栄中

（三）
岩木川瀬の樂のもと
あかきりんごの里の香に
生命絶えせぬ、幸うけて
つとに人の和かざしつつ
励むわれらの清らかさ
ここぞ名のごと　栄中

採種圃設置計画
県の奨励品種を中心に！

農林商工課では県農業改良所と協議して昭和三十四年圃設置計画をたてております。県の奨励品種を中心に地域品種を選定して安全多収をはかりたいと考えておりますが、計画は次のとおりであります。

昭和三十四年度採種圃設置計画案

一、水稲

設置区域	品種名及設置面積			
八甲田	十和田	陸奥光	藤坂農林一号	青森県十四号
五所川原	小曲	七和	長橋	松島
飯詰	中川	昆沙門	栄	梅沢
三好	計			
三	三五	一〇	三一	一六
五	一〇〇			

二、大豆

設置区域	品種名及設置面積				備考
野花	起陽	月岩	手長	十葉	
七和	長橋	飯詰	計		
三	一	一	一反		
三	一	一	一反		
三	一	一	一反		
三	一	一	一反		
一二	四	四	四反		

以上のとおり予定しておりますので、最寄の支所、市役所農林商工課へ早く申込んで下さい。

市役所チーム
卓球二連勝
第六回職共済大会

第六回卓球大会は十一月三十日午前八時半から、青森商業高等学校で開催されたが一回戦は強剛弘前市と戦い三対二で軽く蹴落し続く二回戦は青森市と決勝は八戸市と戦かつて三対二で快勝、昨年に引続き二回目の優勝を逐げた。

五所川原市役所卓球部長　平川甚四郎（収入役）
監督　木村精一（監査委事務局長）
（写真優勝の市役所卓球部員）

電話をつけるには

その局の交換機や市内の電話線路に余裕があつてつけられる状態にある時に限られております。それで若しつけられない局の場合には何年前からそんな状態なのか、これからどの位の申込があるか、その他いろ〳〵やす計画をたてるに何よりも必要なことは『つけたい』という申込が現在どの位あるか』ということです。

申込が多い局と少ない局とでは『つける数』を割当するにも申込の多い局の方へ多く割当られます。

設備の関係で今直ぐつけられないまでも『

電話の申込について
＝電報電話局から＝

しかしこの頃は『電話がつく』という局が多いため『故障』なれなれしくなれなれしくなつてきています。

これはあるべきことがはつきりしかし計画に最も多くの人が電話を申込をしないで早く国家、いつまで経つてもつかないことになります。

ことに大ざつぱに書きましたが『電話がつくまで』の現状をご諒承下され、ご希望の方は当局や七和、長橋、梅沢の各郵便局へ多数お申込下さいますようお願い申上げます。

五所川原電報電話局

五所川原郵便局
年賀状は早く郵便貯金にご協力を

年賀状は全部で三八七、二八六万枚、配達した数は三七四、一四二万枚でこのように多数の年賀を短期間に取扱うこととなり、どうしても平常の送達日数よりもおくれ勝ちとなるので、特に県外などは早目にお出し下さらないと元旦配達に間に合わないことになりますので何卒ご協力下さい。

尚今年の十二月二十一日は日曜日なので特にラリーマンの方はこの日を年賀状を書く日とお決め下されば非常に好都合かと存じます。

昭和三十三年の年の瀬も迫り今年に暮れようとして居ります。

年間を振返つて見れば多い年であつたんの豪雨相次ぐ台風の来襲特に第二十二号台風は農作物に甚大なる被害をあたえ収穫期には全市民の心身を寒からしめるものがあつた。

幾回は豊作と言ふ結果を設すられ農地もたし農家に取つて懐ろ潤ましい経済をあたいてくれ田畑地の頃皆様でありました。今なこ

農業者の皆さんには本当にご苦労様でありました。

農業者の維持
借入申請

本年も二月二度にわたつて大きな風があり、採り入れ諸を目的にした農作物が相当しまな被害をうけ各農家ではそのために収入の減額が生じ或は復旧等の経営の再建費を必要とする状況となつて

① 被害をうけた農家の皆様には早速お見舞申上げます。

② 台風の痛手が強く農家経営の維持が困難な農家は規

そろしい豚
豚舎の消

春から下一円に発生した豚コレラは一時下火になりましたが、春の予防注射が徹底ないのと、密殺者、密移動者が多いために八月からまた〳〵蔓延の傾向にあり、五所川原市内の飼育された六八九頭であるが、正式に加える密殺や自然死殺豚なのこれらをあわせると約三倍ていの屠殺を超えるものと思われて、これが損害は均五千円とみても五の多額にのぼり、本当に百万円のものだと今更

辰地相
開設のお
五所川原市

市長　ごがはつ計画に最つて整備伴つて電るように刈に『申込つかないことに

県　体としては六〇億に

西敵ると云われていて、先般高知事は六億の赤字で手上げられたそうですね。

いては婦人層として養育して行く母親の立場からしてのおねがいです。

第一点＝政治の派閥解消に力

現在利益、野その新市途上負つ

『電話は申込んでもなか〳〵つかない』

『そんなにつかない電話なら申込んでも無駄だ』とよく云われております。

実際当局管内（五所川原市西北一円…板柳、小阿弥を除く）においても、お申込になつてから何年もつかないでいるのが沢山あります

どうして電話はこんなにつかないのか

この点少し申し上げますと日本電信電話公社ではお申込による電話をつけるため毎年六、七〇〇億円程の資金をもつて二四、五万箇程を新築するとか、線路を直つけて来ており、来年度には九〇〇億円の予算で二七万箇つけようという計画をたてております。

唯こんなにしてつけて参りましても全部のお申込に対しては三五％程しかつけられない現状です。

（当局舎が新築され、改式されたのはその例です）

五所川原
市役所チーム
卓球二連勝
第六回職共済大会

昭和三十三年度採種圃設置計画案

謝申上げます。

今年は全道の斗争が十二月にも行うように伝えられているが、郵便局ではたとお出し下さらないと元旦配

（昭和33年10月15日 第三種郵便物認可）　昭和33年12月15日　（第51号）

五所川原市広報

一部2円

運転資金の融資
中小企業者に対して

中小企業者に年末資金の特別融資をいたします。

この制度は県内の中小企業者に対して年末資金を保証融資することによつて逼迫する年末の金融難の緩和を促進するために実施するものであつて、その要綱は次のようになつております

一、保証融資総額（青森県）二億五千万円也

一、取扱金融機関
この制度の趣旨に賛同した金融機関

一、制度の実施期間
昭和三十三年十一月五日から昭和三十四年三月五日まで

一、資付資金
青森県は本制度の円滑な運営を期するため、県費五千万円を保証協会と協議の上昭和三十三年十一月十日から、昭和三十四年三月十日までそれぞれ取扱金融機関に預託するなお本制度の効果を更に拡大するため関係市町においても総額二千万円を協調預託する。

一、保証融資の条件
① 保証対象
県内の中小企業者
② 資金の使途
運転資金
③ 保証金額
原則として一件金五十万円以内
④ 保証期間
九十日以内
⑤ 保証形式
手形貸付、手形割引、及び支払保証の保証
⑥ 償還方法　一時払
⑦ 利息及び保証料
イ、利息、取扱金融機関の所定利息
ロ、保証料、日歩七厘
⑧ 保証人及び担保
保証人は一人以上とし必要に応じて担保を徴する

一、申込受付場所
① 取扱金融機関各店舗
② 保証協会の本所及び支所

一、申込受付期間
昭和三十三年十一月五日から昭和三十四年一月三十日まで

一、その他
① 本制度の運営状況について保証協会は毎日知事及び日本銀行青森支店長に報告する。
② 一般保証と区別するため、協会の所定書類に『年特』の記号を付する。
③ 本要綱に定めない事項について県、取扱金融機関及び保証協会が協議の上決定する。

事務引継
新旧市長で

（左）現市長 山内久三郎氏　（右）前市長 外崎千代吉氏

十二月五日午前十時から高橋総務部長、佐々木庶務課長立合の上で事務の引継が行なわれた。この日の山内新市長は濃こんの背広に頭髪も綺麗に整とのえ、外崎前市長は薄茶の背広で、長火鉢を真中にはさみ終始笑顔の裡に十一時終了した。

供米代金は
予金いたしましよう
…計画性をもちたい…

心配された台風も大きな被害も与えず四年続きの豊作で今年も暮れようとしております。

豊作のよろこびはなべ底景気をふつとばして日本経済の中のただ一つの明るい話題でしよう。

この豊作の供米代金をめぐつていろ〳〵の方面から、活潑な運動が行なわれていますが、なんとしてもこの供米代金をどのようにして使うかを農家のみなさんによく考えて頂かなければなりません

とかく豊作のときは無計画に消費的な支出がかさみがちですから、まず預金をして充分に考え、計画をねつてから引出して使うようにして下さい。

第一には、来年の作付に必要な肥料、農薬等の購入資金に充当することでしよう。これが金額の必要時期は農家のみなさん方充分おわかりのことでございましようから、それまで農協の定期預金にしてこの資金を確保しておくことが一番有利なことでしよう。

第二には災害にそなえることです。今年の豊作の中には局部的には干害、風水害を受けた方があります。これらの天災に備え、又土地改良等、所謂生産を高める基盤を作るための備荒貯金をする心構えが必要でしよう。

第三には、生活改善のための資金です。農家の経済的地位を高めるためには従来の生活様式を合理的に改善することで、古い風習冠婚葬祭等にこだわらず必要以上の支出を極力おさえることです。

最后に農家の収入の大半はこの供米代金によるものですから来年の収穫時期までの生活費を計画的に分配し農業経営の資金に不足がおこらない様にして下さい

まず供米代金は一応 農協に預金しましよう

農林商工課

五所川原婦人会
消防署を慰問

五所川原婦人会（会長永井かつ）では例年通り、私達市民の身体、生命、財産を火災から守つてくれている消防署員を慰問した、この日十一月十九日は猛訓練の終つた後で日頃のはりつめた心もやわらんで大いに感謝し、婦人会から、全署員に軍手その他の贈り物があつて午后一時過ぎひきあげた。

栄中学校 校歌

目下作曲中

五所川原市立栄中学校（校長白戸爲教氏）ではかねてから校歌の作成を急いでいたがこの程五所川原市教育委員会教育長工藤直三郎氏の作詞によつて出来あがつた。作詞次の通り、尚作曲は弘前大学教授清野健氏に依頼中である。

（一）
東麓珠の裾のもと
津軽広野のただ中に
黄金垂穂は波寄せて
天の惠みとたたえつつ
学ぶわれらのほがらかさ
ここぞ名のごと　栄中

（二）
西に岩木根仰ぐもと
とわの気高きひとすじに
神の啓示とぬかづきて
地の利つぶさにささげつつ
進む歩調の、高らかさ
ここぞ名のごと　栄中

（三）
岩木川瀬の樂のもと
あかきりんごの里の香に
生命絶えせぬ、幸うけて
つとに人の和かざしつつ
励むわれらの清らかさ
ここぞ名のごと　栄中

年賀状は早く
郵便貯金にご協力を

元旦に『ドサリ』と投げ込まれる年賀状、誰しもが待こがれて早くこないかと郵便屋さんの姿を求めて家の前を出たり入つたりするあの正月がもう間近だ。

毎年年賀郵便の取扱や小包、印刷物の増加、才末の激しい金の動きなどで転手古舞する五所川原郵便局ではもう年末の支度で大童であります。

皆さんに馴染み深いお年玉つき年賀葉書は十一日十五日から売り出されている共同募金や日赤の事業にこれまで三十五億円も金を出した寄付金つきのこの葉書は今年も頗る売行がよい十二月九日現在でもう五円葉書一四八、七〇〇枚も売つているし、四円の葉書は一円安のところから、会社、銀行などの大口の利用者の受けた年賀状は全部で三八万、七、二八六万枚、配達した印刷物も年末に入ると一時〇二万数は三七四、一四二万枚で殺倒するのは毎年の例でこのように多数の年賀を短期間に取扱うこととなり、どうしても平常の送達日数よりもおくれ勝ちとなるので、特に県外などは早目にお出し下さらないと元旦配達に間に合わないことになります。

謝申上げます。

今年は全通の斗争が十二月にも行うように伝えられているが、郵便局ではたとえ組合斗争があつても年賀状はおくれないように万全の策をたてております。

そこで今年の年賀状はおそくも十二月二十三日頃までにお出し願いたいのでございます。昨年当局で引きば非常に好都合かと存じます。

尚今年の十二月二十一日は日曜日なので特にサラリーマンの方はこの日を年賀状を書く日とお決め下されば郵便貯金の増加を図つておりますのでご協力を切にお願い申上げます。

当局の本年度目標は純増で千八百八十万円であるが最近は金廻りのよくないこと、意外に払戻が多くなかなか〳〵計画通りにゆかず非常に苦慮している状態である。

一月八日現在で一三、三六一円の黒字となりましたが年間目標よりこの点に大きな影響があるが、今年は十二月十日の賞与の支度で大変の反映で商店の売込合戦が%の低調にあり、これが一段と激しいため昨年より家収入時の十二月に於て〇〇%達成すべく今井郵便局長を先頭に以下日夜奮斗中でありますのでご協力を切にお願いします。

五所川原郵便局

電話をつけるには

『電話は申込んでもなかなか〳〵つかない』

『そんなにつかない電話なら申込んでも無駄だ』

とよく云われております。

実際当局管内（五所川原市西北一円：板柳、小阿弥を除く）においても、お申込になつてから何年もつかないでいるのが沢山あります

どうして電話はこんなにつかないのか

この点少し申し上げますと日本電信電話公社ではお申込による電話をつけるため毎年六、七〇〇億円程の資金をもつて二四、五万箇程を新築するとか、線路を直つけて来ており、来年度には九〇〇億円の予算で二七万箇つけようという計画をたてております。

唯こんなにしてつけて参りましても全部のお申込に対しては三五%程しかつけられない現状です。つまりその局の交換機や市内の電話線路に余裕があつてつけられる状態にある時に限られております。それで若しつけられない局の場合には何年前からそんな状態なのか、これからどの位の申込があるか、その他いろ〳〵やす計画をたてるに何がつけるとかの方法を講じて困つている局の設備を順次拡張し、ご要望に応えるようにしております。

（当局舎が新築され、改式されたのはその例です）

しかし、この設備の行ている局が全国的に多いため『申込んでもなかなか〳〵なれない状態にあります。

では何故申込すぐ〳〵めるのか

これはある局の電話申込が多い局と少ない局とでは『つける数』を割当するにも申込の多い局の方へ多く割当られます。

設備の関係で今直ぐつけられないまでも『皇がこの方面に〳〵ることは、計画に電話資料となつて整進されそれに伴つて早くつけられるように、反対に『申なかつかないそつけたい希申込をしない、いつまで経つかないこと

まことに大ざつぱましたが『電話がつの現状をご諒承下ご希望の方は当局や長橋、梅沢の各郵便数お申込下さいます願い申上げます。

五所川原電報電話局

採種圃設置計画
県の奨励品種を中心に！

農林商工課では県農業改良普及事所と協議して昭和三十四年度の圃設置計画をたてております。県の奨励品種を中心に地域に適品種を選定して安全多収をはかりたいと考えておりますが計画は次のあります。

昭和三十四年度採種圃設置計画案

一、水稲

| 設置区域 | 品種名及設置面積 | | |